

1 2つのベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  に直交するベクトルは外積  $\vec{a} \times \vec{b}$  に平行なベクトルである。したがって、求めるベクトルは  $\vec{a} \times \vec{b} = (4, 3, 5)$  (またはこの定数倍) である。

2  $y = x^2 + 3x - 1 = \left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{13}{4}$  であるから,  $x + \frac{3}{2} = X, y + \frac{13}{4} = Y$  とおけば,  $Y = X^2$  となる。したがって, 座標変換は

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} -\frac{3}{2} \\ -\frac{13}{4} \end{pmatrix},$$

つまり,  $a = -\frac{3}{2}, b = -\frac{13}{4}$ .

3

$$(1) A = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} & -\frac{\sqrt{3}}{2} \\ \frac{\sqrt{3}}{2} & \frac{1}{2} \end{pmatrix}$$

(2) 基底の変換行列は  ${}^tA \cdot A = E$  を満たすので直交行列である。したがって,  $\{O; \vec{e}_1, \vec{e}_2\}$ -座標系が直交座標系ならば  $\{O; \vec{f}_1, \vec{f}_2\}$ -座標系も直交座標系である。

(3)  $\{O; \vec{e}_1, \vec{e}_2\}$ -座標系の点を  $(x, y)$ , この点の  $\{O; \vec{f}_1, \vec{f}_2\}$ -座標系での座標を  $(X, Y)$  で表す。このとき,

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = A \begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix}$$

が成り立つ。この式を  $x^2 + y^2 = 1$  に代入することにより  $X^2 + Y^2 = 1$  を得る。

4  ${}^tA \cdot A = E (= A \cdot {}^tA)$  を満たす正方行列のこと。

$$5 \det \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 2 \\ 3 & 1 & -1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 & -1 \\ 0 & 2 & 1 & 2 \end{pmatrix} = 23.$$